

農地の保全で地域持続を

27歳の時から、本格的に農業を始めて、50年がたちます。

収入保険に加入したのは、N

OSAー職員の説明を聞き「あ

らゆる原因の収入減少に対応できる」という部分に魅力を感じたからです。

近年の天候は、感覚だけの農業では対応できない脅威となりつつあります。

個々で、米価下落の対策を考えていかなければならぬ時代になつてきていると感じています。

実際に、天候不順などで価格や収量が下がり、販売金額

が落ち込んだことがあります。そんな時、保険金を受け取ることができ、とても安心できました。

また、収入保険に加入したことを見つかけに青色申告の数字を意識するようになります。

この先、高齢化や後継者不足により農業を辞める人が増え、農地が荒廃し、地域環境が悪化していくことが考えられます。

農地の保全と地域環境を守るという使命感を持ち、年齢のことを考えながら、コツコツと営農していきたいと思います。

高島市

大辻 雄太さん(76歳)

【経営規模】

水稻2.1ヘクタール

